

テーマ：『 水源の町「相模湖内郷を愛する心を育む環境教育」 』

相模原市立 内郷小学校

Tel. 042-685-0110 担 当 矢部おのゑ
者：



■実践内容： <環境教育>○自分達の飲み水を調べよう・・・5年生が、自分達の飲み水となっている相模湖や谷ヶ原浄水場などの水はどうなっているのかということで、学習協力者と共に、水質検査等を行ってきた。○相模湖・上流の沢井川などである。その差が余りにも大きかったので、下流域や水源の水にも研究が及んだ。特に水源地の忍野村の水はとでもきれいだった。大切なことは、自分達が水を汚さないこと、自分達でできることは何かということで様々な取り組みを行った。☆アクリルたわしの製作・・・お掃除でも洗剤を使わないように、ボランティアの方々と古毛糸を利用して取り組んだ。○「日産わくわくエコスクール」にもお出でいただき全学年にエコに関する興味や関心・意欲付けを行った。○「内郷の・が結ぶ仲良しの輪」・・・緑のカーテンだけではなく様々な・を栽培し、地域や近隣の幼稚園・保育園・小学校に届けた。地域の運動会でもサルビアの花が会場のグラウンドを飾った。

■実践成果： ①飲み水の水質検査を通して自分達にできることは何かを考え、行動に移すことができた。②上下水域の具体的な水質検査では、保護者や学習ボランティアの協力を得て忍野八海にまで行くことができた。③緑のカーテンだけでなく「・が結ぶ仲良しの輪」が地域の方々からも感謝され幼稚園や保育園との交流にまで発展した。④「日産わくわくエコスクール」等トップレベルの環境教育で学習意欲の向上ができた。

■実践ポイント： 次世代の日本を担うのは子ども達である。まず、あらゆる角度から学習に関する興味・関心・意欲付けを行うためには、本物を通じた教育を行うことが大切である。この取り組みは未来への投資であると実感した。感謝。

